

# 節目を祝い発展を祈願

## 市商工会設立10周年記念式典



式辞を述べる宮本商工会長

市商工会・青年部・女性部の設立10周年記念式典が4月18日、松の館で行われ、会員ら約200人が節目を祝いました。

式典では宮本純一商工会長が「次世代を担う若者が高い理想と大きな夢を抱けるようなまちづくりを目指し、これからも1年1年歩みを重ねていきたい」と式辞。福島市長の祝辞に続き、山本清秋市議会議長の音頭による万歳三唱が行われ、今後のさらなる発展を祈願しました。

また、式典では歴代の会長や役員など功労者78人に表彰状、1団体に感謝状を授与。特別功労者表彰を受賞した森田町の乳井章男さんは「感激でいっぱいです。この栄光を励みにさらに商工業発展に尽力したい」と謝辞を述べました。



特別功労者表彰の乳井さん(右)



さらなる発展を誓う万歳三唱

## 商工会・青年部・女性部の歩み

| 女 性 部                      |            | 青 年 部                                                                                                                   |       |                                                            |       |                                                                 | 商 工 会      |                                    |       |                                                                              |       |                                                                      |       |                             |       |                                                            |
|----------------------------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------|------------|------------------------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------|-------|------------------------------------------------------------|
| 平成21年<br>～                 | 平成17年<br>～ | 平成25年                                                                                                                   | 平成24年 | 平成23年                                                      | 平成22年 | 平成18年<br>～                                                      | 平成17年<br>～ | 平成25年                              | 平成24年 | 平成23年                                                                        | 平成22年 | 平成21年                                                                | 平成20年 | 平成19年                       | 平成18年 | 平成17年                                                      |
| 早朝商店街賑わい創出事業「朝市」(平成21～25年) |            | 商店街の清掃奉仕活動(平成17～25年)、つがる市社会福祉大会協力事業(平成17～25年)、市内各老人ホーム等の慰問(平成17～23年)、接客マナー経営講和、救命講習(平成17～25年)、女性部報「嬉遊笑覧」年2回発行(平成17～25年) |       | 厚生労働大臣より被災地支援の感謝状受賞、山田町大浦小学校で金魚ねぶた筆入れ体験事業                  |       | 山田町大浦小学校でネプタ離子披露、商工会青年部全国組織化45周年記念式典にて東北・北海道ブロック代表地域づくり部門「顕彰受賞」 |            | 東日本大震災被災地(岩手県山田町)にてネプタ運行ならびに支援物資提供 |       | ふるさと自慢わがまちCM大賞受賞                                                             |       | 森田養護学校運動会、クリスマス協力事業(平成17～25年)                                        |       | クリーンキャンペーン事業(平成18～25年)      |       | 「つがる市食と産業まつり」開催、特産品販路開拓推進事業「葛飾区産業フェア」出店、小規模事業者経営改善資金利子補給事業 |
|                            |            | 宮本純一氏会長再任、特産品販路開拓推進事業、緊急雇用創出事業                                                                                          |       | 「つがる市食と産業まつり」開催、特産品販路開拓推進事業「葛飾区産業フェア」出店、小規模事業者経営改善資金利子補給事業 |       | 創業塾開催、ふるさと雇用再生特別基金委託事業                                          |            | 宮本純一氏会長再任、つがるちゃんスタンプ事業スタート         |       | 臨時総代会にて宮本純一氏会長に選任、むつ小川原財団支援事業「朝市」開催、経営革新塾一般コース・農工商連携コース開催、小規模事業者経営改善資金利子補給事業 |       | 森田支所、柏支所、稲垣支所の本所統合、商工会等合併・組織強化事業、地域振興調査事業、創業人材育成事業、小規模事業者新事業全国展開支援事業 |       | (5月23日)第1回通常総代会にて野呂充志氏会長に選任 |       | (4月1日)つがる市商工会設立(旧1町4村の商工会合併)、初代会長に蝦名鐵之助氏選任                 |

# ウォーキングで自然を満喫

2014おやこウォーク in 地球村



爽やかな気候に笑顔がこぼれます



ゴールを喜ぶ子どもたち



景色を堪能しながらウォーキング

つがる地球村で5月4日、「2014 つがる市おやこウォーク in 地球村」が開催され、県内各地から集まった親子連れら約650人が、さわやかな汗を流しました。

参加者は3キロ、6キロ、10キロ、15キロの4つのコースに分かれスタート。思い思いに新緑の自然を満喫しながら、桜舞い散る五月晴れの中でゴールを目指しました。3キロに挑戦した川田晃平君（穂波小）は「疲れたけど景色がよくて楽しかった。岩木山がきれいだった」と話していました。

また、会場内ではよさこい知求群会の演舞やお楽しみ抽選会などのイベントを実施。ビュッフェ形式でカレーや焼きそばなどの食事も提供され、子どもから大人まで楽しい1日を過ごしました。

ゴールデンウィークの恒例行事となったおやこウォークは今回で11回目。実行委員長の今淳一さんは「春の息吹を感じながら、多くの皆さんの記憶に残るイベントになったと確信しています。今後内容をステップアップしながら続けていきたい」と感想を述べました。

## 豊の上で熱戦を展開

### 第9回全国高校生かるたグランプリ



瞬時に札を取り合う参加選手



静かな会場に響く読手の歌



4連覇を飾った福井県選抜

5月4日、5日、松の館で「第9回全国高校生かるたグランプリ in つがる市」が開催され、全国から集まった高校生が、緊迫感漂う会場で競技かるたの腕前を競い合いました。

大会には、木造高校、富士高校（静岡県）、中津南高校（大分県）に加え、京都、福井、神奈川、福島、宮城の各府県選抜の8チームが出場しました。競技は1チーム5人の団体戦で、すべてのチーム総当たりのリーグ戦形式。2日間にわたる熱戦の結果、福井県選抜が4年連続優勝を果たし、木造高校は7位の成績でした。部長の一戸乃理子さんは「試合は負けてしまったけど、木造高校らしいチームプレーが出せた。次の大会に向けて練習を頑張っていきたい」と話していました。



長谷川さんの田植え作業を見守る福島市長

## 品質の良い米づくりを

5月19日、福島市長はじめ西北地域県民局、農協関係者らが木造地区の水田を巡回して田植え農家を督励しました。

督励は、売れる米づくりの推進のため、毎年田植えの時期に行っており、この日、一行は下福原地区の長谷川孝悦さんと大畑地区の高橋幸一さんの水田を訪問。16.7畝にまっしぐらを作付けする長谷川さんから「今年は苗がよく育ち、順調に作業が進んでいる」との報告を受けると、福島市長は「農作業中のけがや体調管理に気を付けて頑張ってください」と激励していました。アイガモ農法にも取り組んでいる高橋さんの水田では、今後の作業予定などについて談笑も交えながら話し合っていました。

## 読書推進で文部科学大臣表彰

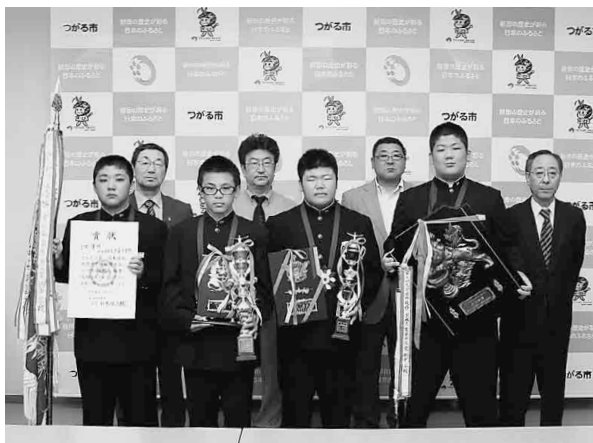
稲垣西小学校（佐々木真校長）は、子どもの読書活動推進の優れた取り組みが認められ、本年度の文部科学大臣表彰を受賞しました。

5月1日、葛西教育長へ報告に訪れた佐々木校長は「身近なところに本を置く環境づくりが大事。読書好きの子どもたちが育ったことを認められた」と受賞を喜んでいました。

同校では児童の読書活動充実のため、平成18年度から校内体制を整備し、読書まつりや図書委員会を中心とした多様な実践活動を実施。また保護者や地域住民、県立図書館などの外部機関、ボランティア団体と連携しながら読書活動の推進体制を構築しています。



受賞を喜ぶ佐々木校長（左）



（前列左から）澤田佑太君、鳴海篤郎君、小関拓道君、石岡弥輝也君

## 東日本選抜中学校相撲大会で優勝

5月11日、秋田市で開催された「第11回東日本選抜中学校相撲大会」で木造中学校（古川郁生校長）が団体優勝、石岡弥輝也君（同3年）が個人の部で優勝を果たし、5月15日、福島市長へ報告に訪れました。

大会には東北6県から21校が出場。木造中は予選から順調に勝ち進み、決勝で優勝候補筆頭の鰯ヶ沢中を2対1で下し、栄冠に輝きました。決勝トーナメントを全勝で優勝に貢献した小関拓道君（同1年）は「先鋒としてチームの流れをつくる役割を果たせた」と振り返り、個人、団体戦ともに優勝を飾った主将の石岡君は「冬場のトレーニングの成果が出た。次は全国大会目指してチームを引っ張っていきたい」と話していました。

## 仲間と学ぶ楽しさ一生涯

つがる市長寿大学開講式が5月20日、松の館で開催され、学長の葛西教育長が各地区代表者に学生証を手渡し、学生を代表して小山内兼一運営委員長が「日常生活に役立つ有意義な講義や活動が盛りだくさんです。積極的に参加して生きがいを見だし、次回が待ち遠しくなるように皆さんで盛り上げましょう」とあいさつしました。

式終了後の第1回学習会では、むがしっこを語る会「ゆきん子」（春藤篤子代表）が津軽の昔ばなしやわらべ歌を披露。津軽弁の愉快な話と懐かしい歌に会場は大いににぎわい、180人の受講生が新しい知識習得と仲間づくりに意欲を高めていました。



葛西学長から学生証を受け取る受講生

## 地域の安全は地域で守ります

春の安全・安心まちづくり推進大会が4月21日、市商工会館で開催され、防犯ボランティア団体や警察官ら約70人が、安心して暮らせるまちづくりへ決意を新たにしました。

大会では、防犯指導隊総隊長の手嶋成信さんが「安全で安心して暮らせる地域社会の確立を目指し、住民や関係機関と連携しながら活動に取り組みます」と決意表明。市JUMPチームを代表して吉田海帆君（木造高）が「非行のない明るい社会づくりに貢献します」と宣言しました。

大会終了後には、パトカーを先頭に自主防犯パトロール隊が青色回転灯を装着した車両で市内を巡回し、防犯意識の向上を呼び掛けました。



力強く決意宣言する吉田君



元気な荒馬踊りと太刀振り舞を披露

## 五穀豊穡を願う虫送り

牛瀨町で5月25日、伝統行事「虫送り」が行われ、牛瀨小学校児童と保護者ら約160人が参加し、五穀豊穡と無病息災を祈願しました。

虫送りは、後継者不足等で一時途絶えていましたが、昭和62年頃、当時の牛瀨小PTA役員らの努力によって復活し、現在では学校、PTA、地域が一体となって開催されています。

この日はトラックに乗せた2体の虫を先頭に、殿様やお姫様の仮装、赤いじゅばんなどを身に付けた児童や保護者が「サンサンサンソーレ」と元気な掛け声とともに荒馬踊りや太刀振り舞を披露し町内を練り歩きました。運行後、虫は集落の入口2カ所に祭られました。

## 市農業士会が花壇苗を贈呈

花を育てることを通じて「環境の美化」や「育てることの楽しさ」と大切さを学んでもらおうと市農業士会（成田親哉会長）が市内11小学校に地元で生産された1100鉢の花壇苗を贈りました。

5月9日、柏小学校（猪股義仁校長）で行われた贈呈式には4年生50人が参加。農業士会の野呂修聖副会長と佐々木浩巳さんが児童代表に苗を手渡すと、澁谷憲信君は「きれいな花を咲かせ続けられるよう頑張って管理します」とお礼の言葉を述べました。その後、児童たちは正面玄関前の花壇にマリーゴールド、キンセンカ、サルビアなどの色鮮やかな苗を丁寧に植え付けていました。



花壇に苗を植える児童たち



道路沿いのごみを拾い集める参加者

## ごみのないきれいなまちを

木造コミュニティ実行委員会（白戸英行会長）による「春のごみゼロ運動」が5月10日、木造地区にて行われ、町内会や老人クラブなど20団体約200人が地域の環境美化に精を出していました。

市役所前で行われた出発式では、白戸会長が「観光客の皆さんにより印象をもって楽しんでもらいたい。地域の清掃活動の啓発になるよう力を合わせて頑張りましょう」とあいさつ。その後各団体で道路脇や水路周辺の空き缶や紙くずなどのごみを一つずつ丁寧に拾い集めました。参加者は「幹線道路沿いはすぐにごみ捨てられてしまう。きれいなまちにしたい」と話していました。